

各 位

会社名 株式会社 CAC Holdings
代表者名 代表取締役社長 西森良太
(証券コード 4725 東証プライム市場)
問合せ先 財務戦略部 IRグループ長 祖父江友美
(電話 03-6667-8070)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
(アップデート)

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応につきまして、2025年2月13日に公表した内容の進捗状況を分析し、現状の評価、改善に向けた取組方針について、以下のとおりアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析

当社は、収益性および資本効率の向上に継続的に取り組んでまいりました。その結果、2025年12月期のPBR(株価純資産倍率)は1.0倍へと改善し、前期比で0.2倍の上昇を実現いたしました。

しかしながら、当社はPBR1.0倍に留まることなく、より高い水準を目指すべきと考えております。今後も「収益性」と「資本効率」のさらなる向上を重要な課題として、下記の通り具体的な施策を推進してまいります。

2. 改善に向けた方針及び取組み

以下の施策に取り組むことでPBRのさらなる向上を目指してまいります。

(1) 収益性改善

AI Transformation、新規事業の創出・発展等による高付加価値化を通じた、収益性の向上

(2) 資本効率改善

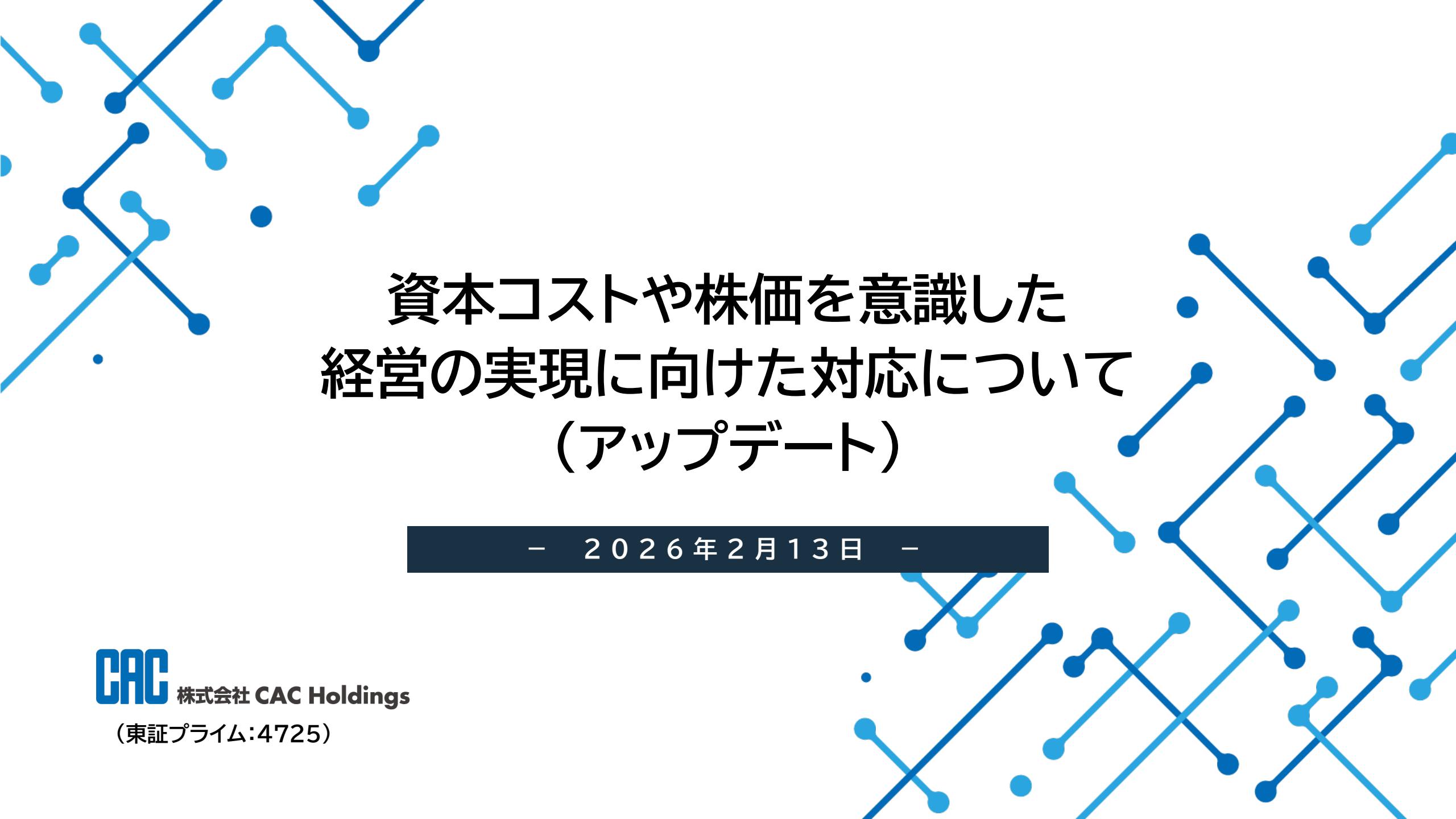
政策保有株式の圧縮やレバレッジ活用を通じた、資本効率の改善。

(3) 対話をふんだ取組みのアップデート

投資家とマネジメントの対話機会を増やし、個人投資家向けIR施策や情報開示を充実させることで、中長期的な方針の発信を強化してまいります。また、中長期視点での独自KPI適用・発信に取り組みます。

※詳細につきましては添付資料をご覧ください。

以 上



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について (アップデート)

- 2026年2月13日 -



目次

I.現状分析・評価

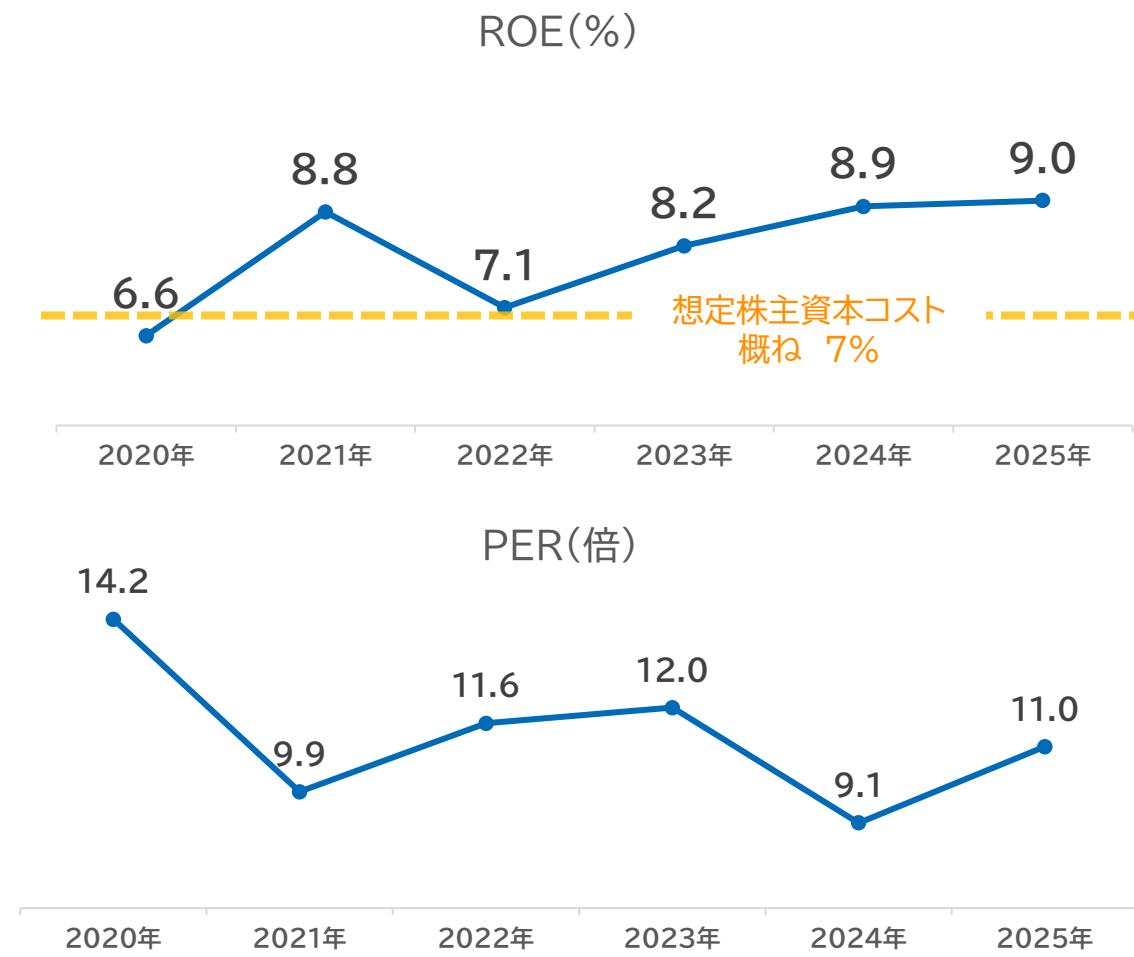
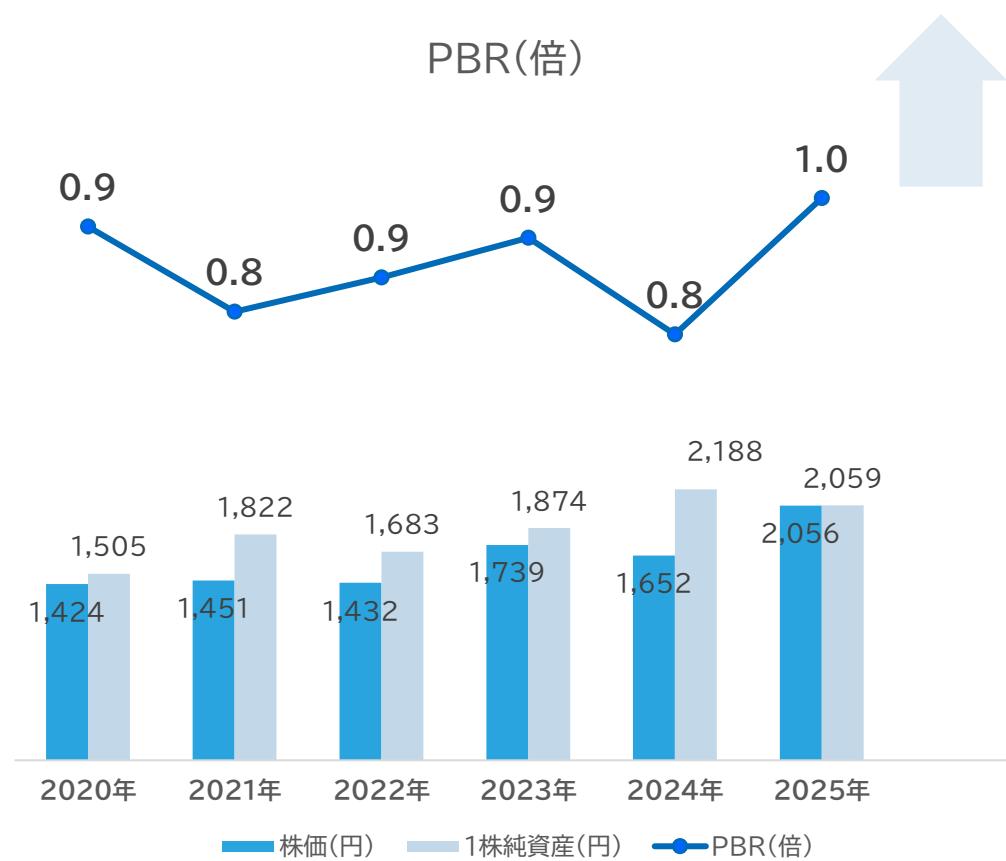
II.今後の取組み

- ①資本構成の見直し
- ②株主還元
- ③対話をふまえたアップデート



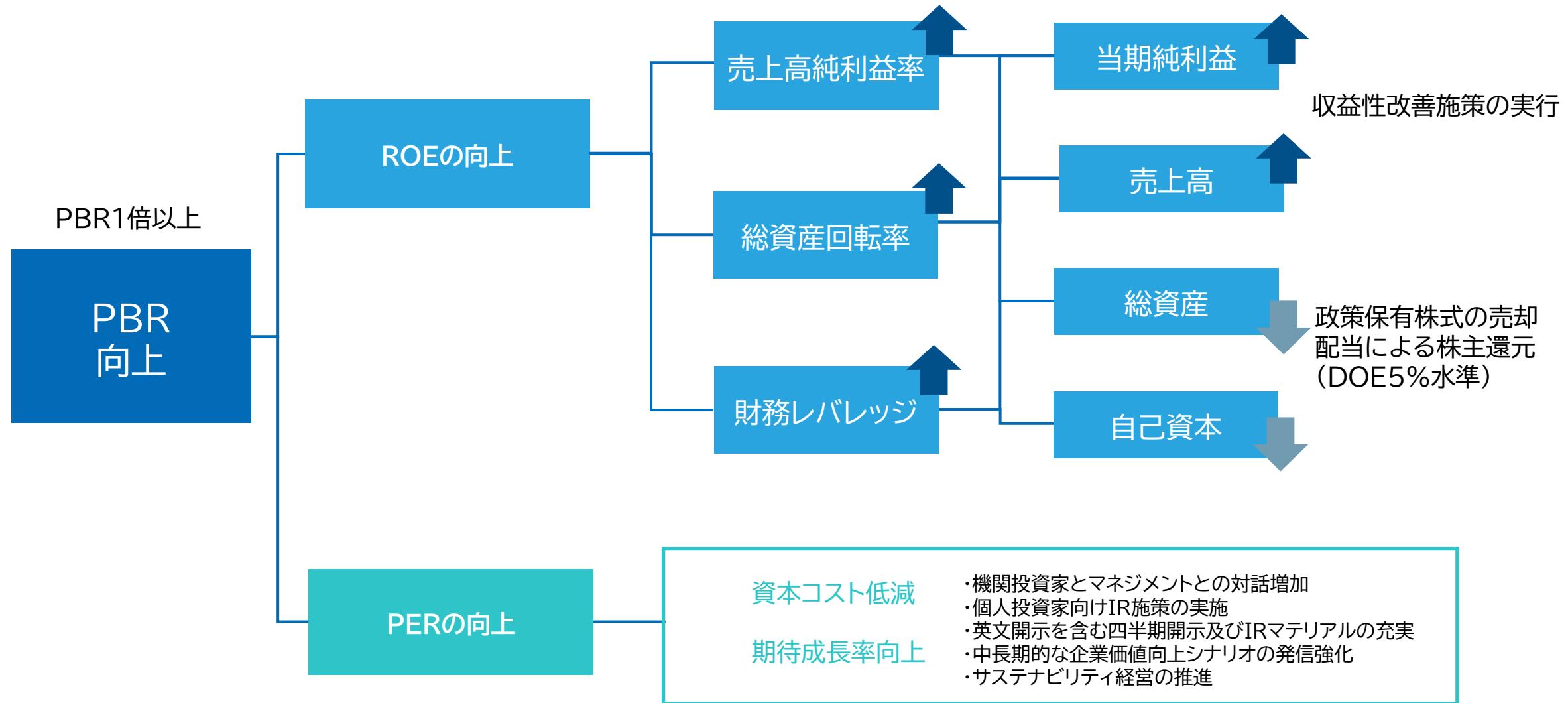
I. 現状分析・評価

- 2025年12月期PBRは1.0倍へ改善(前期比+0.2倍)
- PBR1倍にとどまらず、より高い水準に向けて「収益性」、「資本効率」への取組みが課題と認識





II. 今後の取組み

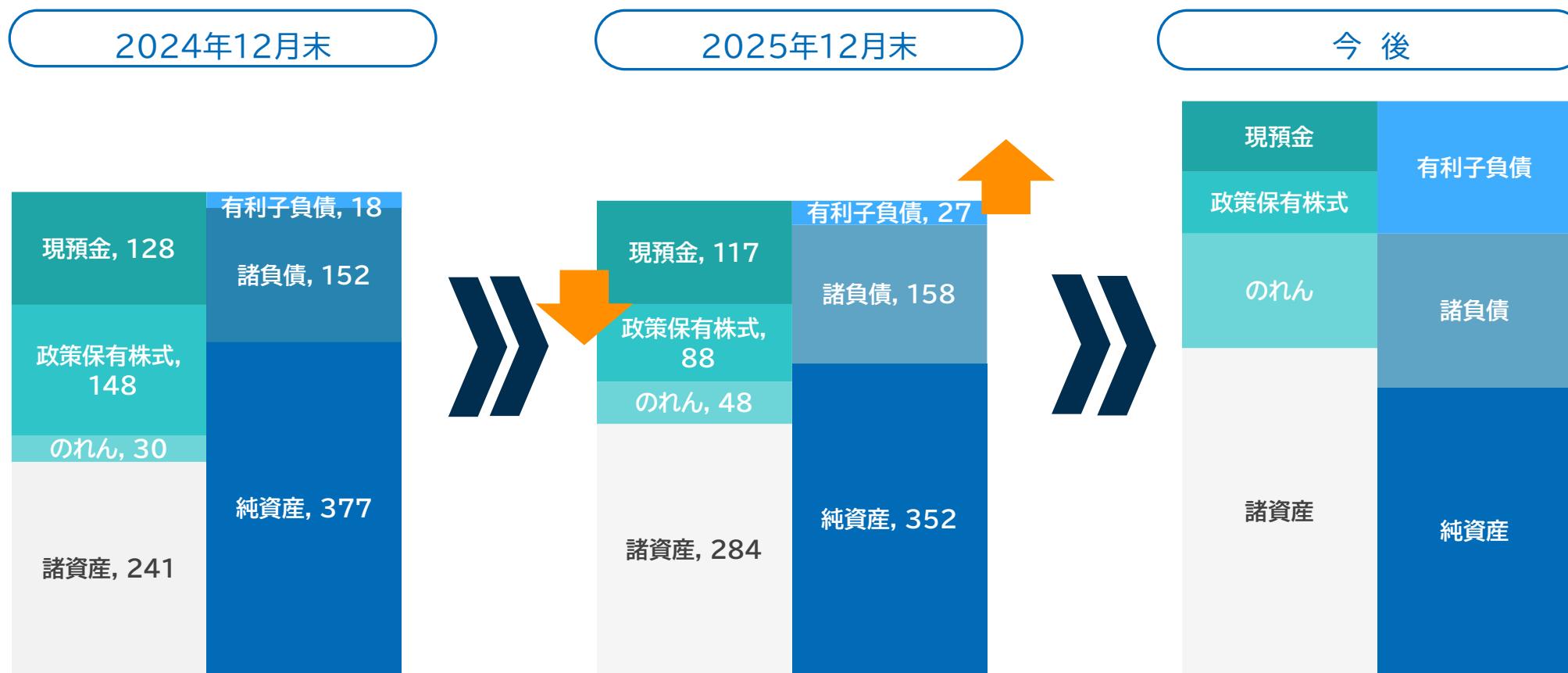




II. 今後の取組み ① 資本構成の見直し 目指すべきバランスシート

- 財務レバレッジ2倍を上限に、資本構成の最適化を図る
- 政策保有株式の圧縮とレバレッジの活用により積極的に資本効率の改善を目指す

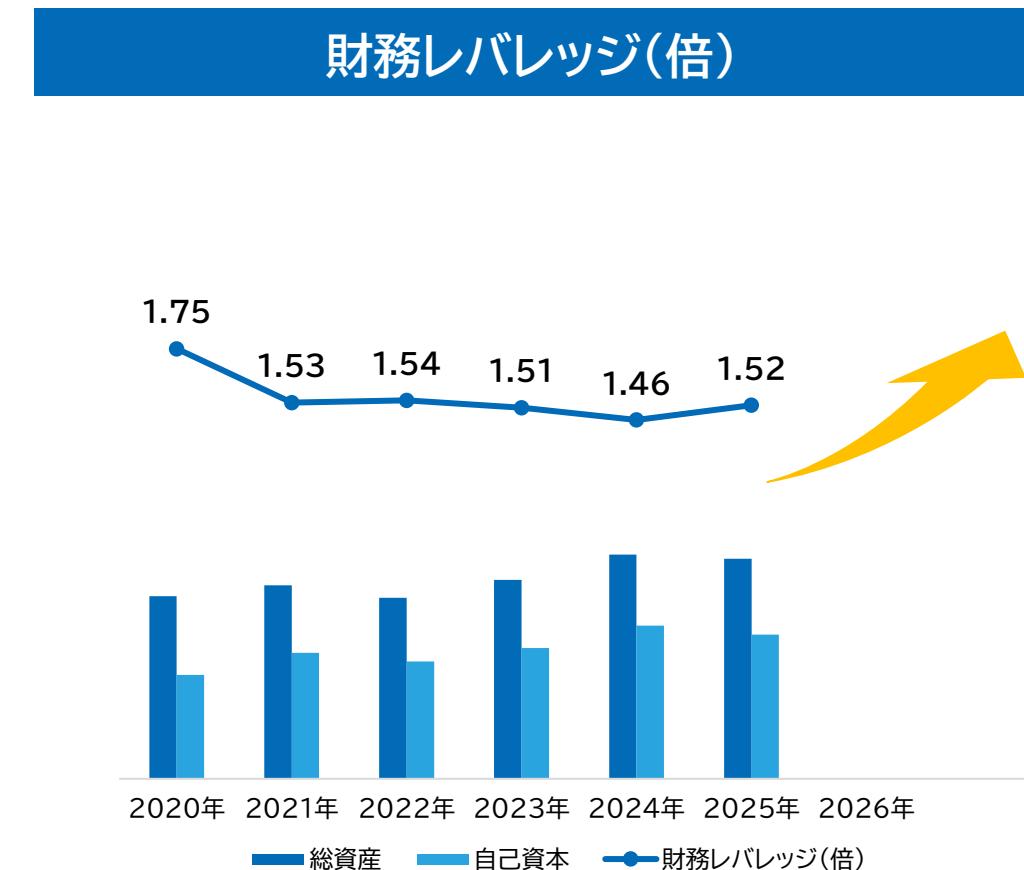
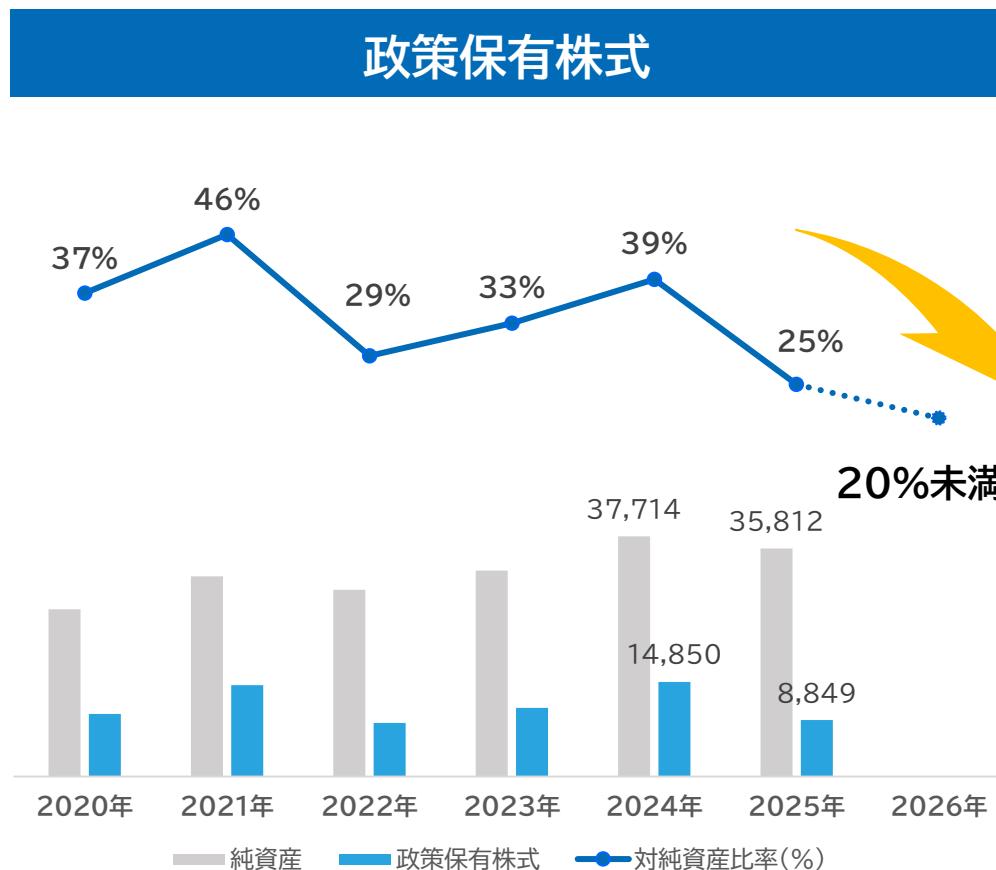
連結BS資本構成





II.今後の取組み ①資本構成の見直し

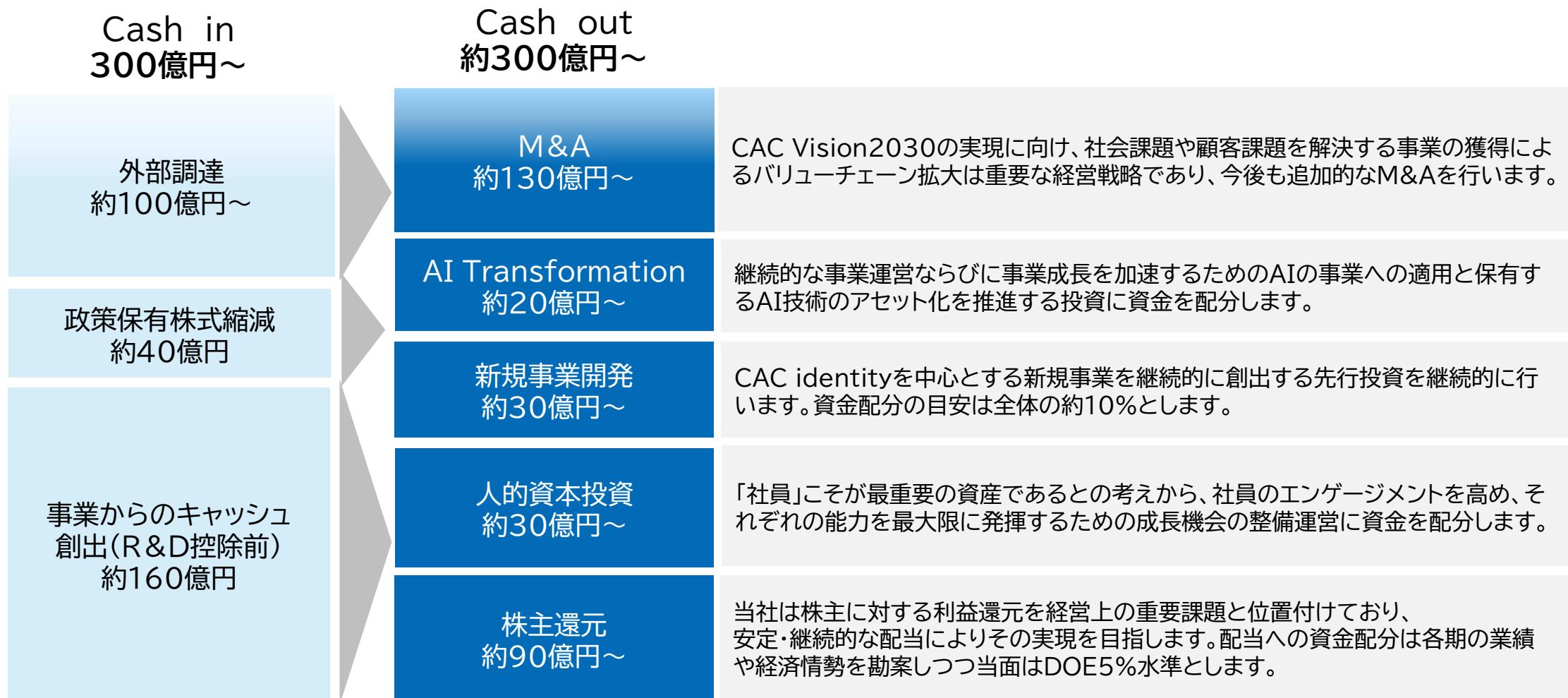
- 2026年12月末までに政策保有株式を純資産比20%未満へ圧縮
- 財務レバレッジを活用しながら、成長投資を推進する





2030年までのキャッシュアロケーション

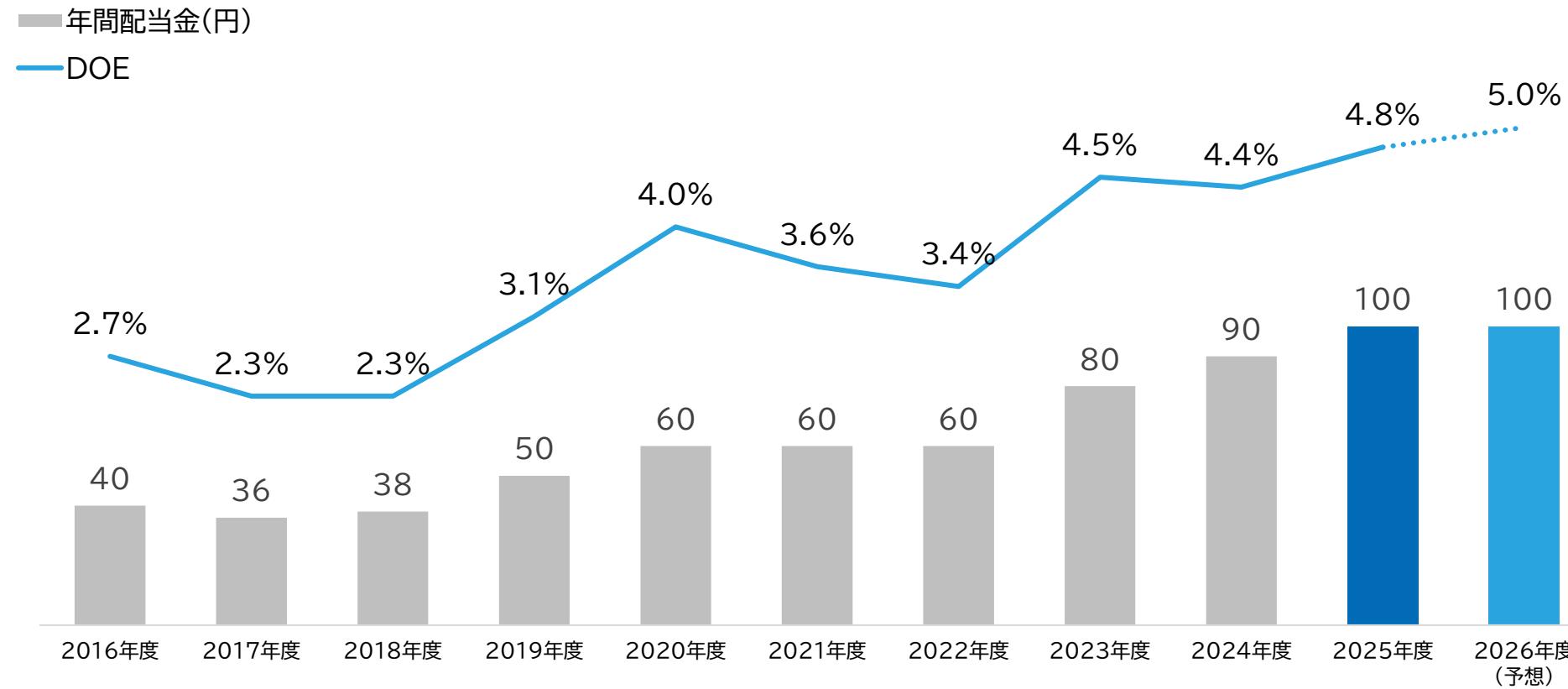
- M&Aは、財務健全性を担保しつつ外部調達を含め実施していく
- 株主還元は、事業から創出したキャッシュで実行





II.今後の取組み ②株主還元

- 株主還元は今後も配当を中心とする
- 2026年度配当は業績や経済情勢を勘案しつつ、DOE5%水準をもとに1株当たり100円を予想する





II.今後の取組み ③対話をふまえたアップデート

- PER改善には資本コストの低減と期待成長率を上げる必要があると認識
- 投資者との対話をふまえた改善策として、投資者との対話の促進や発信強化などを実施予定

1

PER改善 =

$$\text{資本コスト} \text{ down} - \text{期待成長率} \text{ UP}$$

PER改善、投資者等の対話をふまえた取組み

資本コスト低減

投資者との対話促進

- ・投資家とマネジメントの対話増加
- ・個人投資家向けIR施策の拡充
⇒説明会登壇、イベント出展
- ・情報開示の充実
⇒書き起こし記事等による情報発信多様化

期待成長率の向上

中長期的な方針の発信強化

- ・事業領域ごとの成長戦略の発信
- ・定量的な情報の充実・発信

中長期視点での独自KPI適用・発信

対話をふまえた
アップデート

- ・機関投資家のみならず個人投資家に対しても対話を増やし、個人投資家増を目指す
- ・新規事業説明会の実施
- ・増配による株主還元強化
- ・個人投資家向けサイト開設し事業モデルの理解を深耕し、対話を促進

投資者との対話状況

【機関投資家向け】

- ・決算説明会開催(2回/年 CEO登壇)
 - ・個別ミーティング実施 (27回/年)
- 主な意見
- ・新規事業について利益貢献時期の明確化
 - ・自己資本の積み上げに対して、株主還元が不十分
 - ・流動性が低い

【個人投資家向け】

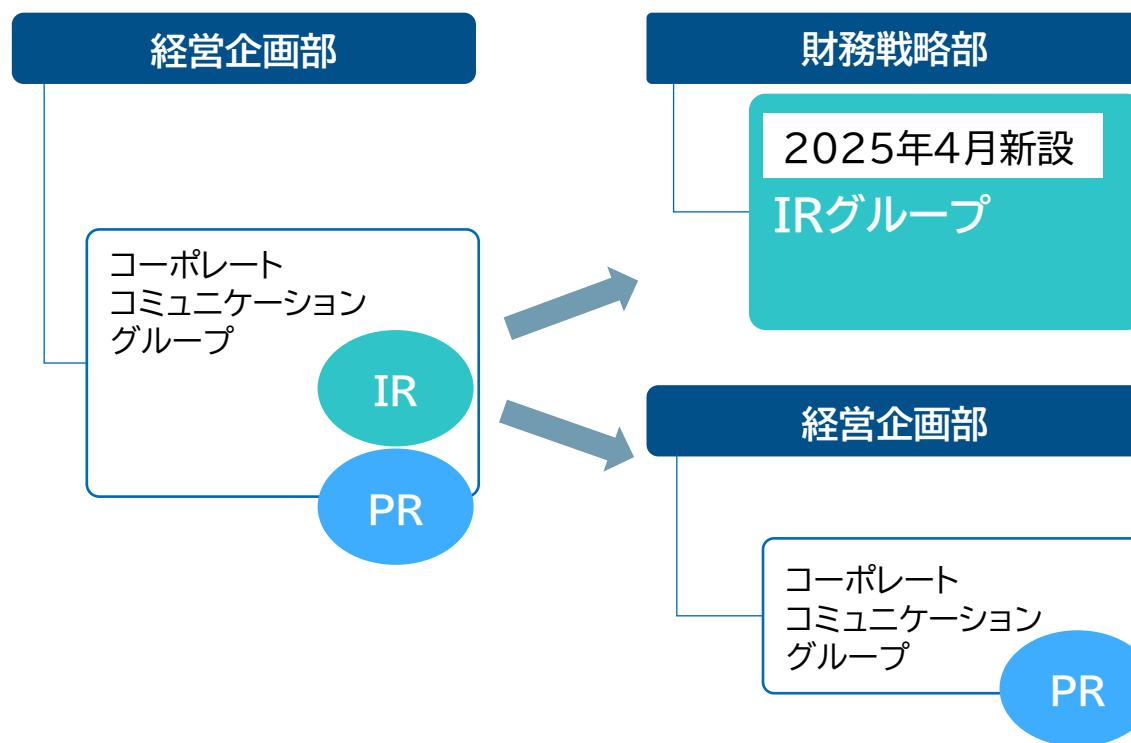
- ・CEOメッセージおよび統合報告書案内送付(2回/年)
 - ・個人向けIR支援会社主催の会社説明会にCEOが登壇
 - ・個人向けIR支援会社主催のIRイベントに出展
- 主な意見
- ・会社の事業がわかりにくい、イメージしにくいなど



市場との対話を加速するIR新体制への移行(2025年4月新設)

体制整備

- IR活動の先鋭化、対話強化を目的に、2025年4月に専門部署としてIRグループを新設



その他体制整備

- IRに特化した部署を新設し、専門人材を1名増員
- 原則CFOによる1on1面談の質的向上
- 投資家のリクエストに応じた、CEOのIR対応も継続
- 投資家の声はCFOから直接CEOや取締役会へ報告・施策に反映
- 英文同時開示(決算短信、説明会資料など)体制構築

免責事項

この資料は、株式会社CAC Holdings(以下、「当社」といいます)が作成したものであり、投資家の皆様に対する情報提供を目的としています。本資料に記載されている情報は、作成時点でのものであり、将来の業績や見通しを保証するものではありません。

本資料に含まれる情報は、信頼できると判断した情報源から得たものですが、その正確性や完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された情報は予告なく変更されることがあります。

投資に関する最終的な判断は、投資家ご自身の責任で行っていただくようお願いいたします。当社およびその関係者は、本資料の利用により生じたいかなる損害についても責任を負いません。

お問合せ先

経営統括本部 財務戦略部 IRグループ

TEL:03-6667-8070 E-mail:prir@cac.co.jp

<https://www.cac-holdings.com/>



株式会社 CAC Holdings